令和８年度第１回富里市介護保険運営協議会　議事要旨

1. 日時	令和８年８月 10 日（月）　　13：30～15：30
2. 場所	富里市役所　本庁舎３階３会議室
3. 出席者	別紙、運協出欠表のとおり
欠席	
4. 次第	１　開会 ２　会長あいさつ ３　議題 （１）富里市高齢者保健福祉計画・第９期介護保険事業計画進捗について 【資料１】 （２）富里市高齢者保健福祉計画・富里市第 10 期介護保険事業計画・富里市認知症施策推進計画骨子案について 【資料２－１】【資料２－２】【資料２－３】 （３）富里市地域包括支援センターに係る委託事業者の選定及び担当区域について　【資料３】 ４　報告事項 （１）介護保険事業の現状報告について　【資料４】 （２）地域密着型サービス事業所の指定状況について　【資料５】 （３）富里市地域包括支援センター等運営協議会からの報告 【資料６・資料７・資料８】 （４）富里市指定居宅介護事業所等指導・監査連絡協議会からの報告 【資料９】 ５　その他 ６　閉会

＜議事要旨＞

議題　（１）富里市高齢者保健福祉計画・第９期介護保険事業計画進捗について

資料１について、事務局（(株）ぎょうせい）から説明を行った。

議長 （会長）	ただいま（株）ぎょうせいから、介護保険事業計画の進捗及び評価について説明がありました。 それでは、皆様からご意見をいただければと思います。
委員Ａ	13 ページ、項目の１（３）④、「身近な生活環境の整備」の施設の老朽化に伴い、という文言が入っているところですが、この施設とは庁舎のことでしょうか。
事務局	施設の老朽化というのは、福祉センターを含めて、そして広い意味では介護施設も含めてという意味になります。
委員Ａ	ありがとうございます。
議長	事務局に１つお尋ねします。給食の見守りの件で、見守りの認識に差があると説明していましたが、ここは具体的な事例がありますか。
事務局	ボランティアで、調理ボランティアと配達ボランティアの２つがあります。そして、中には配達して終わり、という方も中にはいると思います。逆に、しっかり声をかけて、熱中症に気を付けて、水分とって、など細かく声をかけて配慮している人もいるので、全員が同じように出来ていないということを指していると思います。
議長	点検チェックシートみたいなものがあって、確認しているのかと思っていたが、そうではないということでしょうか。
委員Ｂ	（中部西包括では）チェックシートはあります。記入が終わったら担当に渡したり、ファクスとかで報告してもらったりしています。それ以外に気になることがあったら、電話で直接連絡してもらいます。
議長	説明では、うまくいっている部分は省略していましたが、もっと褒めてあげてもいいのでは、というのがあれば。委員Ａさんどうですか。
委員Ａ	６ページの認知症施策、認知症対策の推進のところで、チームオレンジのことが載っていましたが、これが「Ｃ」評価となっています。私の所属する中部東包括では、チームオレンジにお願いして、認知症当事者の方が介護予防の活動に参加する際に協力をいただいたりしています。チームオレンジが１件で、対象者への支援も少ないということですが、支援を受けた側としては非常にありがたいところではあります。認知症に理解がある方がチームオレンジになって、当事者とか家族に支援してくれるという今まで進んでいなかった仕組みなので、非常に助かっています。
議長	他にご意見、ご質問はありますか。 ないようなので、議題２へ移ります。

議題　（２）富里市高齢者保健福祉計画・富里市第 10 期介護保険事業計画・富里市認知症施策推進計画骨子案について

【資料２－１】【資料２－２】【資料２－３】について、事務局および（株）ぎょうせいから説明を行った。

議長 （会長）	資料２－１でスケジュール、資料２－２で富里市の高齢者と介護保険を取り巻く現状、そして資料２－３で第 10 期計画の骨子案の説明がありました。 ご意見ご質問をお願いします。
議長	最初に１つだけ確認ですが、先ほどの評価の「C」や「D」というものがありましたが、これらは次期計画ではどういう風につながるのでしょうか。
事務局（(株)ぎょうせい）	一般的には、「D」評価のもの、つまり未実施のものはどうするかは、実施することが難しければ廃止になることもあると思います。現在、事務局の方で検討していることと思います。
事務局	その通りです。
委員Ａ	資料２－２で、11 ページの介護保険料について、富里市は変わらずにまだまだ低い金額になっているということでしたが、一方で資料２－３の骨子案の最後 38 ページでは、介護保険料はまだ記載がありませんでした。11 ページの必要保険料額が、保険料基準額を超えているので、保険料を上げざるを得ないと思うのですが、そのあたりいかがでしょうか。
事務局	11 ページの中段のグラフで必要保険料額、つまり実際の給付費を保険料換算していくと保険料としては 5,027 円払わないと成り立たない、ということになっています。現在の保険料は据え置いて 4,700 円となっており、千葉県では栄町が一番低く、富里市は２番目に低い市町村となっています。市としては、富里市が一番低くなっています。 今後、要介護認定者も増えていく見込みで、基金も減ってきている状況で、安定した持続可能な介護保険制度を考えると、今の金額のままでいいのかを「見える化」システム等を使いながら、今後検討していく予定になっています。
議長	他にご意見、ご質問ございますか。 ないようなので、議題３に移ります。

議題　（３）富里市地域包括支援センターに係る委託事業者の選定及び担当区域について

【資料３】について、事務局から説明を行った。

議長 （室井会長）	資料３の説明がありました。 ご意見ご質問をお願いします。
委員Ａ	（日常生活圏域のうち、中部地区を東西に分けて、運営していた点について）実際に担当しているものとして、（住民からみて自分の地区の地域包括支援センターがどこであるか）「わかりづらい」「相談しづらい」という意見について、以前からご指摘を受けていた中で、（次期計画期間からは中部地区の東西を統合して１つとして運営

	していくことは）いいことかなと思いました。
議長	他にご意見、ご質問ありますか。 ないようなので、全ての議題を終了しました。 事務局にお返しします。

＜報告要旨＞

報告事項　（１）介護保険事業の現状報告について　【資料４】

報告事項　（２）地域密着型サービス事業所の指定状況について　【資料５】

報告事項　（３）富里市地域包括支援センター等運営協議会からの報告　【資料６・資料７・資料８】

報告事項　（４）富里市指定居宅介護事業所等指導・監査連絡協議会からの報告　【資料９】

４つの報告事項について、事務局より説明があった。その後、ご意見や質疑は一括して対応。

委員Ｂ	説明を伺って、パーソナルトレーナーとしての他、資格のある方がいないということですが、近くの事例では佐倉市では、看護師や理学療法士とか、プログラムとかがあるといいのでは。私たちは「要支援」の元気な方を対象としていますので、こういう良いサービスは、資格のある方がいたほうが、安心して紹介することができるかと思います。
委員Ａ	今、５回転の話が出たので、その点について。この５回転デイサービス、短時間介護予防モデル、45 ページのところですが、１人１時間程度というのは、少しタイト過ぎて心配だと感じました。２時間程度あった方が、利用する側としては、また紹介する側としても安心かなと思いました。 そして、その様子の写真もありましたが、これだけでは想像がつかないので、実際に地域包括支援センターの担当が見学させていただくことはできないものでしょうか。事業者も遠い場所ではないので、見に行けたらと思いました。
事務局	今いただいたご意見を事業所にも伝え、もし可能であれば、実際にケアプランを作成する地域包括支援センターの職員の皆様に見ていただくのが１番いいと考えていますので、了承を得られましたら、また地域包括支援センターの皆さんにも日程の調整等でご連絡をさせていただきます。
委員Ｃ	５回転だと、１回目と２回目の間が 15 分しかなくて、それで果たして送迎が完全にできるのか、送り迎えができるのかという心配もあるのと、個人差はあるんですが、そこに到着してから準備をして、バイタルチェックをして、お手洗いを済ませてから始めると思いますが、そんなに１時間の中で、すごい早さでできない方もいますし、体調面をお話したい方もいますので、２、３時間で１日３回転とか 3.5 とか４とかがあるといいんじゃないのかなと思いました。こういったサービスは必要だとは思いますけれども、もうちょっと回転数を３とか４にできないかなと私は思います。
事務局	市の考えとしては、２時間未満という単位での設定する事業は、基本的には市の要綱上認められませんので、どんな設定が可能かのかを含め検討してまいります。

その他

（事務局からの、「その他」はなく、質疑もなし）